

平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社サニーサイドアップ

コード番号 2180 URL <http://www.ssu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 次原 悦子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ管理本部 本部長 (氏名) 川崎 将一

TEL 03-6894-3233

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績(平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	3,347	40.1	287	275.9	284	303.6	187	196.4
24年6月期第1四半期	2,389	31.3	76	42.8	70	20.9	63	341.1

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 205百万円 (277.7%) 24年6月期第1四半期 54百万円 (253.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	218.73	212.94
24年6月期第1四半期	74.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第1四半期	5,366	1,682	29.8
24年6月期	4,845	1,498	29.7

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 1,598百万円 24年6月期 1,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年6月期	—	—	—	—	—
25年6月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想(平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,205	31.5	360	68.6	359	63.5	263	46.0	307.38
通期	11,104	7.0	403	26.2	405	17.3	265	22.7	309.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) bills waikiki LLC 、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 重要な子会社の異動の概要」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期1Q	857,600 株	24年6月期	857,200 株
② 期末自己株式数	25年6月期1Q	— 株	24年6月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期1Q	857,335 株	24年6月期1Q	847,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の当社グループは、「創造型PR商社」への事業構造転換を掲げた中期経営計画の第2期目として、既存事業の収益性向上とともに新規プロジェクトの開発に積極的に取り組みました。

その中で、既存の受託型ビジネス領域では、近年のクライアントニーズの高まりを受けソーシャルメディアを活用したコミュニケーションサービス提供への注力が結実し収益に貢献、今後も更なる成長を見込んでおり、グループの基幹事業であるコミュニケーション事業とSP・MD事業においては、ソリューションの強化と積極的な営業の結果として着実に売上を拡大、その収益性も向上させております。

新規の創造型ビジネス領域では、育児中の女性をターゲットとしたSNS「ママゴト」の運営・マネタイズが順調に進んでおります。また、レストラン「bills」の既存国内店舗は継続的なPR活動により計画以上の集客を達成しており、さらにハワイでの新店舗オープン準備に取り組んでおります。当該案件含め、その他にも受託型領域におけるクライアントワークで培ったノウハウを強みとした新規ビジネスの開発に取り組んでおります。

その結果、売上高3,347百万円（前年同期比40.1%増）、営業利益287百万円（同275.9%増）、経常利益284百万円（同303.6%増）、四半期純利益は187百万円（同196.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①コミュニケーション事業

インターネット領域において、昨今高まるクライアントニーズを受けソーシャルメディアを活用した案件の受注拡大、また、育児中の女性をターゲットとしたSNS「ママゴト」のセールスが順調に進捗しており、当該領域は今後更に注力し事業拡大と収益性の向上を見込んでおります。その他、IRで開示しましたファミリーマートと初音ミクのコラボキャンペーンといった全国大型販促案件の受注、さらには高利益率のPRコンサルティング案件の新規獲得・既存継続といったように、付加価値の高い新たなサービス提供を実現しております。また、PR、店頭販促、イベント制作、ネットプロモーション等のクロスセルが業績向上に寄与いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は789百万円（前年同期比63.7%増）となりました。

②スポーツ事業

現在のスポーツ事業の指針として、肖像権を中心とする従来型の「アスリートマネジメント」領域だけでなく、当社グループのPRやコンテンツ開発といった事業リソースやこれまで構築した国内外のネットワークを活かしてスポーツに関する様々なビジネスを行う「スポーツプロモーション」領域に積極的に注力しております。当第1四半期連結累計期間においては、大型スポーツイベントやプロスポーツチームのPR・プロモーション、アメリカでのスポーツビジネス研修等を実施いたしました。さらに、今夏開催されたロンドン五輪においてはジャパンハウスにおけるメダリストの記者会見等の取材、また、イベント「ARIGATO in LONDON」の広報業務といったように当社ならではの大型案件を実施いたしました。なお、前第1四半期連結累計期間に実施されました、番組制作及び放映枠の販売といった大型案件が終了したことと肖像権契約が減少した結果、売上高は減少しておりますが、新たな収益モデルの開発や新規案件の獲得が進み利益率は改善しております。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、252百万円（前年同期比36.0%減）となりました。

③開発事業

当社グループの開発事業は、アスリート以外のスペシャリストとの共同事業開発等、グループ独自の事業を創造することを主とした事業展開を行っております。また、現在は不採算分野を縮小撤退し高収益が見込まれるビジネスへの選択と集中を進めております。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は37百万円（前年同期比88.7%増）となりました。

④SP・MD事業

積極的な営業活動の結果として、これまで売上構成の高かった飲料・食品等の業界以外のクライアントニーズの取り込みに成功し、情報通信業界等のプレミアムアイテムの大型受注製作が順調に推移しております。また、MD領域においては、クライアントとの直取引を強化しており、また、WIST INTERNATIONAL LIMITEDグループの製造体制強化により幅広いニーズへの対応に成功した結果、大手玩具メーカーからのOEM受託が大きく伸長し、当セグメントの増収に大きく貢献いたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,694百万円（前年同期比48.5%増）となりました。

⑤bills事業

当社所属スペシャリスト、ビル・グレンジャー (Bill Granger) を活用した七里ヶ浜、横浜赤レンガ倉庫、お台場、表参道でのレストラン「bills」の運営を行っており、継続的に店舗PR、ブランディングを推進している中、平成24年4月にオープンした表参道店舗の話題化による既存店舗への来客促進が継続しており、当初計画以上の売上で推移しております。さらには表参道店舗の開店初期費用の回収を早期に達成、グローバル展開を推進する中でのハワイ店舗オープンに向けた準備を進めるなど、今後の事業業績向上が期待されます。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は572百万円（前年同期比64.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、5,366百万円（前連結会計年度末比521百万円増）となり、資産の内訳につきましては、流動資産が3,813百万円（同491百万円増）、固定資産が1,553百万円（同30百万円増）であります。また、負債合計は、3,684百万円（同336百万円増）となり、負債の内訳につきましては、流動負債が3,068百万円（同232百万円増）、固定負債が615百万円（同104百万円増）であります。純資産合計は、1,682百万円（同184百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想の修正につきましては、平成24年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において修正を行っております。今後、当該連結業績予想に修正のある場合には速やかに開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第1四半期連結累計期間において、bills waikiki LLCを新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	849,452	972,421
受取手形及び売掛金	1,951,648	2,339,883
商品及び製品	957	908
未成業務支出金	117,571	174,546
原材料及び貯蔵品	9,582	9,893
その他	401,626	317,247
貸倒引当金	△8,768	△1,284
流動資産合計	3,322,070	3,813,617
固定資産		
有形固定資産		
土地	520,818	520,818
その他(純額)	625,163	628,043
有形固定資産合計	1,145,981	1,148,862
無形固定資産		
のれん	13,342	12,146
その他	25,361	23,131
無形固定資産合計	38,703	35,278
投資その他の資産		
その他	365,695	397,260
貸倒引当金	△27,274	△28,158
投資その他の資産合計	338,420	369,102
固定資産合計	1,523,106	1,553,243
資産合計	4,845,176	5,366,860
負債の部		
流動負債		
買掛金	982,570	911,013
短期借入金	1,140,232	1,468,508
1年内返済予定の長期借入金	210,240	251,668
未払法人税等	50,546	86,013
賞与引当金	—	4,644
役員賞与引当金	22,500	—
その他	430,380	347,048
流動負債合計	2,836,469	3,068,897
固定負債		
長期借入金	344,995	446,388
資産除去債務	47,342	48,074
その他	118,307	120,670
固定負債合計	510,644	615,134
負債合計	3,347,114	3,684,031

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	435,720	435,970
資本剰余金	496,320	496,570
利益剰余金	507,191	669,001
株主資本合計	1,439,231	1,601,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,008	1,240
為替換算調整勘定	△2,479	△4,434
その他の包括利益累計額合計	△1,471	△3,194
少数株主持分	60,301	84,481
純資産合計	1,498,061	1,682,828
負債純資産合計	4,845,176	5,366,860

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	2,389,610	3,347,290
売上原価	2,036,708	2,793,505
売上総利益	352,901	553,785
販売費及び一般管理費	276,495	266,609
営業利益	76,406	287,175
営業外収益		
受取利息	48	45
受取家賃	14,546	9,455
その他	168	7,807
営業外収益合計	14,764	17,308
営業外費用		
支払利息	3,811	4,141
持分法による投資損失	—	552
為替差損	10,769	7,879
賃貸費用	3,665	4,341
その他	2,358	2,744
営業外費用合計	20,605	19,658
経常利益	70,564	284,824
税金等調整前四半期純利益	70,564	284,824
法人税等	12,521	78,165
少数株主損益調整前四半期純利益	58,042	206,659
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5,235	19,134
四半期純利益	63,277	187,525

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	58,042	206,659
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△428	232
為替換算調整勘定	△3,310	△1,796
その他の包括利益合計	△3,739	△1,564
四半期包括利益	54,303	205,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,862	187,001
少数株主に係る四半期包括利益	△6,559	18,093

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コミュニケ ーション 事業	スポーツ 事業	開発 事業 (注) 4	S P・MD 事業	bills 事業	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	482,164	394,445	20,129	1,141,509	348,275	2,386,524	3,085	2,389,610	—	2,389,610
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	8,370	—	—	440	—	8,810	7	8,817	△8,817	—
計	490,534	394,445	20,129	1,141,949	348,275	2,395,334	3,093	2,398,427	△8,817	2,389,610
セグメント利 益又は損失 (△)	118,371	36,534	18	21,092	△2,800	173,216	△1,654	171,561	△95,155	76,406

(注) 1. 「その他」の区分は、当社が運営する飲食事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	3,431
全社費用(注)	△98,586
合計	△95,155

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 平成23年6月期より、bills事業が当セグメントから独立しておりますが、継続してスペシャリストや当社ネットワークを活用した新たな事業の企画開発を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年7月1日 至平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コミュニケーション事業	スポーツ 事業	開発 事業	S P・MD 事業	bills 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	789,509	252,632	37,978	1,694,769	572,400	3,347,290	—	3,347,290
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	376	51,805	309	52,491	△52,491	—
計	789,509	252,632	38,355	1,746,574	572,710	3,399,781	△52,491	3,347,290
セグメント利益 又は損失 (△)	133,431	26,583	△7,989	151,251	75,529	378,806	△91,631	287,175

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間
セグメント間取引消去	1,853
全社費用 (注)	△93,485
合計	△91,631

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。